

環境配慮と機能性を両立する素材 ショ糖脂肪酸エステル

環境対応は
付加価値ではなく、
選ばれる条件に
なっています。



森 穂菜美

Honami Mori

事業本部

コア・マテリアル事業部

コア・マテリアル営業部

アメニティグループ

課長代理

case study

海外市場向け製品の
環境対応が課題

- 環境配慮素材への切り替え要求が増加
- 認証対応が必要
- 安全性と機能性の両立が難しい

→ ショ糖脂肪酸
エステル →

環境配慮と市場要求
への対応を両立

- 生分解性・低刺激性
- RSPO対応。HALALやKOSHER認証を取得
- ナチュラル処方にも展開可能

環境配慮が製品価値に

近年、欧州を中心に化学産業は大きな転換期を迎えています。EUでは欧州委員会が推進するサステナビリティ戦略のもと、「安全かつ持続可能な設計(Safe and Sustainable by Design)」へ移行が進んでおり、環境・社会への影響を考慮した製品設計が求められています。こうした動きの中で、再生可能原料を活用した環境負荷の低い製品は、単なる代替素材ではなく新たな付加価値として注目されています。

特に化粧品分野ではナチュラル志向の拡大により、由来原料や環境負荷が重要な選択基準となっています。さらに、サプライチェーンの透明性やトレーサビリティの確保に加え、マイクロプラスチック規制強化など環境規制

への対応を背景に、環境中に残留しにくい原料や生分解性素材への関心が高まっています。企業のサステナビリティ情報開示や認証取得の有無も購買判断に影響を与えており、環境配慮そのものが製品価値として評価される時代となっています。

機能性と環境配慮を両立

こうした環境の中で注目されるのがショ糖脂肪酸エステルです(図1)。本製品は天然原料であるショ糖と脂肪酸から得られる非イオン界面活性剤であり、HLBを調整することで幅広い機能を発揮します。生分解性や低刺激性といった特長も有しており、環境負荷を低減しながら安全性と機能性を両立する素材です。スキンケアをはじめ

とするさまざまな用途で採用実績があり、ナチュラル処方や敏感肌向け製品の素材として高く評価されています。また、当社では原料のRSPO対応およびHALAL・KOSHER認証取得*により、多様な市場ニーズへの対応も進めています。

当社はオランダの関係会社を通じてEUの最新動向や顧客ニーズを迅速に把握し、製品開発や提案に反映しています。また、EcoVadisゴールド評価を有する同社との情報交換を通じて、サステナビリティへの取り組みを強化しています。

今後もショ糖脂肪酸エステルをはじめとする再生可能原料由来製品の提供を通じて、環境負荷低減と高機能の両立を図り、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

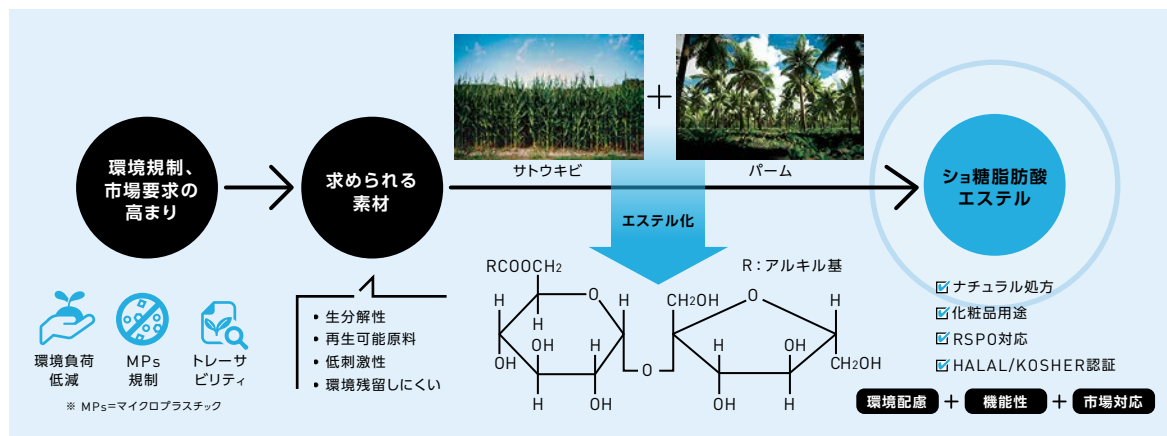


図1 市場要求の変化とショ糖脂肪酸エステルの特長

* RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil) : 持続可能なパーム油の生産・利用を推進する国際認証制度。
HALAL (ハラール) : イスラム圏における基準に適合した製品認証。KOSHER (コーシャ) : ユダヤ教の戒律に適合した製品認証。